

## 平成28年度事業報告

昨今の急速な高齢化の進行とともに、人口減少時代を迎え、社会構造の多様化、複雑化が進む中、医療・介護を取り巻く環境が大きく変わりつつあり、できる限り住み慣れた地域で、誰もが安心して生活できる環境の整備が求められています。

こうした中、地域医療構想は、病床とその機能を細かく検討して2025年を迎え団塊の世代がすべて後期高齢者に達する頃に適正な病床数に減少させ、地域包括ケアシステムの構築や在宅医療、介護保険事業を中心として「かかりつけ医」機能という在宅医療へのシフトを図るような政策です。津地域医療構想調整会議では津市の救急体制の問題点を探る中で、循環器・消化器外科・整形外科疾患について輪番体制の構築が進んだことに対しては2次救急委員会及び輪番病院、津市救急関係者のご協力に感謝申し上げます。また、三重県においては、利用者本位の効率的で質の高い医療・介護の提供体制を構築するため県内8地域でそれぞれの地域特性に留意した「地域医療構想」について一定の見解を示されました。

津地区医師会は、市民とともに歩む専門家集団としての医師会を目指して国民皆保険の堅持を主軸として事業を展開し、真に市民から求められる医療提供の実現に向けて平成28年度の各種事業を実施してまいりました。こうした社会全体の動向を注視しつつ、公益社団法人としての責務を果たすべく①地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業②看護専門学校事業③地域包括支援センター事業④介護支援事業を重点項目と掲げ各事業を積極的に展開してまいりました。

公益性を強く意識しながら、市民の健康を守り、質の高い医療を提供すべく、会員一体となって諸事業に邁進してきたところでございます。

さらに、大規模災害時における会員のとるべき対応等を議論し、行政とともに具体的な行動指針の検討を行い、災害訓練にも積極的に参加することで市民の安心・安全の確保に努めてまいりました。

一方、そのために共益性が軽んじられてはならず、会員向け活動の活性化に積極的に取り組み、会員にとってメリットのある事業の進展を図ってまいりました。

医師会を巡る昨今の厳しい状況のなかで、これらの事業を力強く展開し津地域における医療安全と質の向上を図ることができたのは、会員各位のご理解とご支援の賜物であるとともに、日本医師会及び三重県医師会との連携、更には津市及び久居一志地区医師会並びに三重大学医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、三重県看護協会との連携があったからでございます。

津地区医師会の平成28年度事業報告にあたり、会員の皆様をはじめ関係団体の皆様に深

く感謝申し上げます。

次に、各項についてご報告申し上げます。

## I 地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業

住民の健康を通して地域社会の健全な発展を進めるため、医師の研鑽により医学水準の向上を図る医学教育、住民の健康増進に直接かかわる健康啓発・広報、健（検）診、予防接種、母子保健、学校保健、救急医療対策、介護保険制度円滑化対策、地域連携対策、災害対策、医療安全対策、産業保健の他、住民の健康を守る対策等を協議する医療関係団体等連絡調整など様々な事業を実施いたしました。

### (各事業の概要)

#### (1) 医学教育事業

質の高い医療を提供し、住民の健康増進に寄与するため日頃から医師の自己研鑽が必要である。そのため、最新の知識と技術を学ぶ場として、また、住民の健康保持・増進を図るための専門知識と技能を整理する場として日本医師会生涯教育制度を活用し、医学研修会・講演会・症例検討会を開催いたしました。

なお、久居一志地区医師会とは密接に連携し、医学研修会等を共催するとともに、三重大学医学部の各専門教室と共催して医師だけでなく医療関係者を対象になるべく多くの受講機会と各専門分野にわたる知識の研鑽の場を提供いたしました。

また、医療の高度化による専門分野での医学研鑽の重要性から、当医師会の内部に診療科別の医会を設けて研究活動を実施いたしました。

#### (2) 健康啓発・広報事業

市民を対象に、健康啓発講演会、健康相談等を実施する健康イベントを2回開催し、健康づくりに関しての普及啓発を行うとともに、毎月発行の「安の津医報」やホームページにより市民及び関係機関に対し当医師会事業等の情報を提供いたしました。

#### (3) 健（検）診事業

津市から特定健康診査、後期高齢者健康診査、介護予防診査、各種がん検診等に係る事業を受託し、会員医療機関で検診等を実施いたしました。

また、その健（検）診事業を安全に実施するための説明会や講習会を開催いたしました。

#### (4) 予防接種事業

津市から「予防接種法」に基づく定期予防接種の他、子宮頸がん等ワクチン接種の事業を受託し、感染防止の対策を図るとともに予防接種事業を行う医療機関に対し安全で確実な予防接種を行うための研修を実施いたしました。最近、特に重点をおいていることは、医療事故のないよう啓発しているところです。

#### (5) 母子保健事業

津市が行う「母子保健法」に基づく1歳6か月及び3歳児健康診査の実施の際に小児科医師を派遣し、適切な指導・助言を行うとともに、乳幼児に係る様々な課題を検討するため行政と定期的に検討会・勉強会を実施いたしました。

また、津市からの委託により行っている出産前後の妊婦に対する「すこやか相談」（医療機関内での面接相談）の実施にあたり、協力機関等との調整を行いました。

#### (6) 学校保健事業

津市教育委員会及び三重県教育委員会等からの要請により、保育所・幼稚園、小・中学校及び高等学校に医師（小児・内科・眼科・耳鼻科）を派遣し、児童生徒に対し日常の健康指導を行うとともに、学校職員の健康指導も行いました。

さらに、校医・園医等の資質向上のための研修会を開催し、学校保健の向上に努めました。

また、児童生徒の健康管理の徹底を図るため、津市教育委員会と委託契約を締結し、小学1・4年生及び中学1年生を対象に心臓検診を行いました。

#### (7) 救急医療対策事業

##### ア) 一次救急対策

今年度も住民の安心で安全な健康保持に寄与するため津市と委託契約を締結するとともに久居一志地区医師会と合同で一次救急医療を担いました。

また大里の津市休日応急・夜間子供応急クリニックを小児科専門とし、津市久居休日応急診療所（毎日曜日・祝日診療。久居一志地区医師会館内）、夜間成人応急診療所（毎夜診療。リージョンプラザ内）を内科専門としました。各診療所に医師（管理者も兼ねる）を派遣するため、久居一志地区医師会及び三重大学附属病院と連携して当番医及び担当日の設定調整をしました。

年末・年始（12月31日、1月1日、2日、3日）は、内科の会員医療機関が登板で応急診療にあたりました。

また「津市応急診療所整備検討会」から提示された「提言書」を基に、会員の皆様から意見をいただきながら体制づくりを進め、平成29年4月に恒久的な「津市夜間応急診療所」を開設することになりました。年末年始の応急診療も次年度はこの恒久的な「津夜間応急診療所」で行ないます。

##### イ) 二次救急対策

救急医療対策は喫緊の課題となっており、市内の二次救急輪番病院（永井病院、遠山病院、武内病院、吉田クリニック、大門病院、津生協病院、榊原温泉病院、小渕病院、岩崎病院、三重中央医療センターの10病院）と三重大学附属病院、三重病院、当医師会・久居一志地区医師会及び津市、三重県を構成メンバーとする二次救急対策協議会を設置し、救急医療対策の推進に努めました。

特に、二次輪番病院の勤務医の疲弊が進み、救急医療に支障をきたしていることから大学病院からの医師派遣を調整するとともに、会員である開業医師による二次

輪番病院への派遣協力体制の整備も行いました。

#### ウ) 救急医療機関活動

救急医療対策を少しでも充実させるため、救急病院・救急診療所として告示した医療機関（国立、公立、公的病院を除く）に対して救急隊により搬送される傷病対応にかかる経費の一部を助成いたしました。

#### (8) 介護保険制度円滑化対策事業

津市の要請を受け、介護保険認定審査会の委員に会員が就任するとともに、主治医意見書作成にかかる研修会を実施し、介護保険制度の円滑な運営支援を行いました。さらに、行政、介護事業者及び医師会のメンバーからなる介護保険事業推進懇談会に参加し、介護保険制度の課題について検討を行いました。

#### (9) 地域連携対策事業

高度化、専門化している今日の医療現場において、医療機関相互の役割に応じた連携がますます必要となっており、特に病院と各診療所との連携は重要であります。その一つとして、平成3年12月に小児分野で県下唯一の小児専門二次救急病院である三重病院と津地区医師会所属の診療機関で「津地区医師会オープンシステム」を立ち上げ、診療所医師と三重病院担当医師が協力して診療に当たるシステムの構築を図りました。

また、地域包括ケア委員会では在宅医療・介護の地域連携の構築に向けて津市と連携して取り組んできました。

#### (10) 災害対策事業

当医師会は、津市地域防災計画の救護班としての役割を担っており、津市総合防災訓練への参画や津市消防本部との意見交換を重ねておりますが、平成23年3月に発生した東日本大地震の教訓を踏まえ、平成24年度から当医師会内に大規模災害救護医療に関する対策委員会を立ち上げ、行政との一層の連携の下、大規模災害時における市民の生命の安全を確保するための対策を推進するために、災害時における救急医療体制の見直しの検討を進めました。

#### (11) 医療安全対策事業

医療事故は医療機関の大小にかかわらず発生していますが、主にその対策は大病院を中心に取られてきたため、平成22年度から久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、県看護協会と合同で対策委員会を設置して最新の知識を有している講師を招聘し、合同医療安全研修会を年2回開催し中小の医療機関の医療安全の推進に努めてまいりました。

#### (12) 産業保健事業

平成26年4月より「産業保健活動総合支援事業」がスタートし、従業員50名未満の小規模事業所の従業員の健康保持を担う地域産業保健センター事業を推進しました。また、産業医に対して、三重県産業保健研修会の受講を勧め、その資質向上を図り地域労働者の健康保持の増進に努めました。

#### (13) 医療関係団体等連絡調整事業

日本医師会及び三重県医師会との連携、ならびに県内郡市医師会との情報交換を通じ、住民の健康を守るため、特に、久居一志地区医師会とは津市2医師会連絡協議会を組織し、密接に連携して津市の保健事業の推進に参画するとともに、津歯科医師会、津薬剤師会及び久居一志地区医師会と共同で津市との政策懇談会を開き、市の健康福祉対策についての提言に対する意見交換を行いました。

なお、「地域の保健・福祉の向上による住民の健康増進を図る事業」のそれぞれの主な実績状況は次のとおりです。

## 平成28年度地域の保健・福祉の向上による促進を図る事業の主な実績

### (1) 医学教育事業

- ① 医学研修の充実と日本医師会生涯教育制度実践の強化
  - ・医学研修会等を131回開催〔主催・共催—93回、後援—38回〕
  - ・久居一志地区医師会と合同で臨床集談会の開催（H28.10.20）  
参加者：20名（うち会員16名）
- ② 県医師会主催の産業医研修会への参加〔開催回数：3回〕
  - 第1回産業医スキルアップ実施研修（H28.11.17）参加者149名（津会員11名）
  - 第2回産業医スキルアップ実施研修（H29.3.2）参加者28名（津会員3名）
  - 第3回産業医スキルアップ実施研修（H29.3.16）参加者37名（津会員1名）
- ③ 会員の資質の向上と会の活性化を図るため、各科医会及び班別に研修会及び情報交換会を開催
  - ・各科医会（9科）：整形外科、産婦人科、小児科、皮膚科、外科、耳鼻科、泌尿器科、眼科、内科
  - ・各班別（6班）：医師会内の地域を6地区に分けて班を構成

### (2) 健康啓発・広告事業

- ① 市民健康広場（健康イベント）の開催状況
  - ・第30回（こども部会）  
開催日：H28.7.3 参加人数：307名（大人113名、こども194名）  
内容：「おじいちゃんとおばあちゃんが孫と一緒に遊ぶふれあい広場」  
ソフリエみえによる子育て応援&工作体験、  
医療相談会（小児科2名・眼科3名・皮膚科5名）
  - ・第31回（おとな部会）  
開催日：H28.11.20 参加人数：112名  
内容：講演会〔演題—「生活習慣病を理解して護ろう健康！」  
体力測定〔46名参加〕、骨密度測定〔104名参加〕、  
体脂肪測定、介護用品展示及び介護相談コーナーを設置
  - ・市民健康広場の開催に当たり、各報道機関、公共機関へチラシ等を配布

- ② 市民健康広場の開催に伴う部会の開催
- ・市民健康広場（こども部会） 開催日：H28. 4. 25 ・ H28. 6. 23 ・ H28. 8. 5
  - ・市民健康広場（おとな部会） 開催日：H28. 10. 24 ・ H28. 12. 19
- ③ 市民及び関係機関に関し、当医師会事業等の情報提供の状況
- ・当医師会の機関誌「安の津医報」を毎月発行
  - ・当医師会のインターネットホームページを開設し、毎月更新  
医療機関紹介掲載：平成28年3月現在170件  
(検索方法—50音順、小学校区分、診療科目)
  - ・各会員の近況報告、情報交換などを目的にした医療情報ネットワークの開設
- (3) 健(検)診事業
- ① 検診に関係する下記の説明会に出席
- ・津市各種がん検診実施要領説明会 (H28. 6. 21)
  - ・特定健診特定保健指導実施要領説明会 (H28. 6. 21)
  - ・津市国民健康保険特定保健指導(動機づけ支援)説明会 (H28. 8. 1)
- ② 平成28年度の健診業務に向けて、津市2医師会連絡協議会の成人保健事業担当部会への出席
- [津市及び久居一志地区医師会との合同会議]
- 開催回数2回：H28. 5. 10、H29. 2. 1
- ・成人部会ワーキング・・・H28. 7. 25、H29. 1. 13
  - ・胃がん検診ワーキング・・・H29. 3. 27
  - ・子宮がん検診ワーキング・・・H29. 3. 2
- 開催場所：津市役所
- ③ 特定健康診査、長寿医療健康診査、健康増進法健康診査及びがん検診を実施
- [がん検診の種類]
- 胃がん(内視鏡、X線)、大腸がん、前立腺がん、肺がん(喀痰、X線)、  
乳がん(マンモ、エコー)、子宮がん(頸部、頸部+体部)、肝炎ウイルス検査
- [乳がん及び肺がんX線の健診数]
- ・肺がん—22,923件
  - ・乳がん—5,642件
- ④ 肺がん検診読影会の開催状況等
- ・読影会の開催数：延べ14回  
(8月～12月の間毎月2回開催、H28. 4・H29. 1～3月の間毎月1回開催)
  - ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師4名を招聘  
[検診受診者増加のため8月～12月は2グループに分けて実施  
(H28. 4・H29. 1月～3月は1グループにて実施)]
  - ・読影に関して、デジタルデータ(3台)での二重読影と肺がんシャウカステン4台との同時読影
- ⑤ 乳がん検診読影会の開催状況等
- ・乳がん研修会の開催 (H28. 6. 14) 出席者：37名(うち会員29名)

- ・読影会の開催数：延べ9回（H28.4・8月～H29.3月の間毎月1回開催）
  - ・講師人数：毎回、三重大学医学部附属病院の講師2名を招聘
- ⑥ 津市健康相談への医師派遣・協力状況
- ・津市健康づくり推進懇話会へ担当理事等が出席（開催は随時）
  - ・女性のための健康相談会へ担当理事が出席（開催は随時）
  - ・こころの健康相談への出席（開催は随時）
  - ・食生活改善推進員養成講座（開催は随時）
- （4）予防接種事業
- ① 予防接種協力医研修会の開催〔H29.2.14：出席者90名（うち会員75名）〕
  - ② 津市2医師会連絡協議会の予防接種部会への出席（H28.7.26、H29.1.31）
  - ③ 第1回予防接種健康被害調査委員会（H28.12.21）
  - ④ 予防接種担当部会第1回ワーキング（H28.9.26）
- （5）母子保健事業
- ① 乳幼児健診部会・事例検討部会の開催（第1木曜日で3回開催）
  - ② 津市1歳6ヶ月児健診の実施状況
    - ・津市中央保健センター：医師2名 年間23回
    - ・久居保健センター：医師2名 延べ24回（津3名・10回）
  - ③ 津市3歳児健診の実施状況
    - ・津市中央保健センター：医師2名 2回／月 延べ24回
    - ・久居保健センター：医師2名 年間22回（津3名・8回）
  - ④ 津市3歳児耳鼻科健診の実施状況
    - ・津市中央保健センター：医師1名 2回／月 延べ24回  
（自宅アンケート確認含む）
  - ⑤ 津市3歳児眼科健診の実施状況
    - ・津市中央保健センター：医師1名 1回／月 延べ12回
  - ⑥ 母子保健事業担当部会 H28.9.30・H28.12.14
  - ⑦ 昨年度に引き続き、熱田小児科クリニック内に地域子育てセンターを開設。〔センターの名称：津病児ディケアルーム「ひまわり」〕  
また、病児・病後児保育事業受託医療機関として、岩尾こどもクリニックが津市から指定を受けた。
    - ・津市児童虐待防止等ネットワーク代表者会議（H28.5.19）
    - ・学校保健委員会（H28.11.15）
    - ・津市学校保健推進委員会（H28.11.8）
    - ・5歳児健診等にかかる検討会（H28.7.16・H28.8.24）
- （6）学校保健事業
- ① 津市内の児童生徒及び学校職員に対しての健康指導の実施状況
    - ・学校の派遣数＝小学校（37校）、中学校（13校）、その他幼稚園（25校）
    - ・医師の派遣人数＝小児 内科（44名）、眼科（12名）、耳鼻科（13名）

- ② 津市内の児童生徒  
 (対象：小学校1・4学年・中学校の1学年)の心臓検診の状況  
 ・受診人数＝小学校－3,252名、中学校－1,534名 合計－4,786名  
 ・心電図判読の結果、有所見者数  
     小学校－52名、中学校－50名 合計－102名  
 ・心電図判読委員会に出席した医師人数 16名  
     〔判読委員会の開催＝H28.5.11、H28.6.1の2回実施〕  
 ・有所見者がいる学校の養護教諭に対する心電図説明会を実施 (H28.6.17)  
     〔津市教育委員会は、有所見者が該当する学校長に対して、  
     「心電図検査所見者経過調査報告書」を作成し発送〕
- ③ 学校医及び会員を対象に津地区学校保健研修会を開催  
 開催日＝H29.2.7 場所＝当医師会館講堂  
     「いじめと不登校」 参加人数＝53名(内、会員52名)
- ④ 学校保健安全研究大会・学校保健総会 担当理事出席 (H28.9.23、6.23)
- (7) 救急医療対策事業
- ① 津地域・久居メディカルコントロール協議会 (津庁舎 H28.7.5)
- ② 一次応急・救急診療委員会の開催(H28.7.8・H29.3.30)  
 ・診療所における救急患者受け入れ可能医療機関のアンケート調査実施  
 ・津市応急診療所の運営に係る情報交換会 (H28.7.13・H28.12.9・H29.1.11)
- ③ 津市久居休日応急診療所における休日(昼間)診療活動に協力  
 〔当会員医師の協力延べ人数：津市＝48名、久居一志地区＝22名、非会員1名〕  
 その他、5月連休の耳鼻科医会員独自で在宅当番協力
- ④ 津市夜間応急診療所の医師派遣状況  
 ・津市夜間成人応急診療所(場所：津市リージョンプラザ北側)  
     当会員協力医師数－68名  
 ・津市休日応急・夜間こどもクリニック(場所：津市大里窪田町)  
     当会員協力医師数－13名  
     〔他に久居一志地区医師会及び三重大学附属病院並びに三重病院の医師も協力〕  
 ・久居休日応急診療所(場所：久居本町)  
     当会員協力医師＝48名、久居一志地区医師＝19名
- ⑤ 年末年始在宅医協力状況  
 ・昼→1地区(内科開設)、4日間4医療機関  
 ・夜→津市夜間成人応急診療所及び津市休日応急夜間こども応急クリニック  
     ※小児科は、昼・夜とも津市休日応急・夜間こども応急クリニックで対応  
 ・耳鼻科医会員独自で在宅当番協力
- ⑥ 二次救急関係  
 ・二次救急医療体制協議委員会(輪番9病院代表者会議)への出席  
 開催日(2回)：H28.7.29、H29.3.7



構成団体：三重大学医学部附属病院、津地区医師会、久居一志地区医師会  
・永井・遠山・武内・岩崎・吉田・津生協・大門の7病院及び久居一志地区医師会  
の2病院の協力より、休日及び平日夜間の病院群輪番制にて二次救急を実施  
・津市消防との意見交換会（H28. 7. 15）

⑦ その他

・津市応急診療所の運営に係る情報交換会（H28. 7. 13・12. 19・H29. 1. 11）  
・津市応急クリニック開設記念式典出席（H29. 3. 19）

（8）介護保険制度円滑化対策事業

① 津安芸介護認定審査会委員は昨年度に引き続き、津市の被保険者の要介護認定、要  
支援認定当に係る審査及び判定等を実施

〔委員の人数－当会員48名、任期－平成27～28年度の2年間〕

② 市主催の津市介護保険事業関係者懇談会に参加し、主治医意見書に関する改定・注  
意点等を学び、後日、当医会で研修会を開催

③ 主治医意見書に関する研修会の開催{H29. 2. 28 参加者－30名

「主治医意見書の書き方について」（うち会員 30名）}

④ 平成28年度介護認定審査会委員新任研修会（H29. 3. 17）

⑤ 平成28年度介護認定審査会委員現任研修会（H28. 11. 12）

⑥ 介護保険事業等検討委員会及び担当部会ワーキング会議

（H28. 7. 29・H28. 11. 4・H28. 3. 23・10. 4・11. 14・12. 19・H29. 1. 27・2. 13）

⑦ 介護認定審査員の委員推薦希望調査（H28. 11. 15）

（9）地域連携対策事業

① 病診連携医学研修会への参加

構成医療機関：遠山病院、永井病院、武内病院、岩崎病院、津生協病院、三重病院

② 久居一志地区医師会と津地区脳卒中地域連携協議会を開催（開催随時）

③ 在宅医療の充実・連携を図るための下記の委員会・研修会等の開催

・在宅医療委員会の開催・在宅医療研修会の開催

（医療側から進める在宅医療普及啓発事業）

1. 「自宅で死ぬ」ということ（H28. 7. 7）

参加人数－51名（会員医師13名）

2. 「在宅医療における連携ツールを考える」（H28. 10. 27）

参加人数－30名（会員10名）

3. 「在宅医とコメディカルの会」（H29. 2. 23）

参加人数－94名（会員16名）

（多職種連携事例検討会）

1. 「自宅で死ぬということ」（H28. 7. 28）

2. 「在宅での情報連携について」（H28. 11. 17）

3. 「在宅医療における家族の力」（H29. 3. 23）

④ 在宅医療関連のアンケート調査の実施

- ・在宅医療アンケート
- ⑤ 「知っとく・なっとく 津の在宅医療」(H29. 1. 19)  
参加人数—200名
- (10) 災害対策事業
  - ① 津市が主催の下記会議に出席
    - ・第1・2回津市災害医療に係る検討会議 (H28. 12. 27・29. 2. 20)
    - ・第1・2回津市防災会議 (H28. 10. 26・29. 1. 30)
    - ・三重県・津市総合防災訓練全体会議 (H28. 7. 12・8. 29・10. 26)
    - ・津地区医師会大規模災害委員会 (H28. 11. 4)
    - ・三重県・津市総合防災訓練 (H28. 11. 13、南が丘小学校グラウンド)
    - ・災害医療コーディネーター研修会 (H29. 2. 5)
  - ② 三重県津保健所主催の下記会議に出席
    - ・津地域災害医療対策会議 (H28. 10. 27・12. 7・29. 1. 26)
  - ③ その他
    - ・三重県医師会災害・救急医療対策委員会 (H28. 12. 8)
    - ・三重県医療救護班研修 (H28. 9. 3)
  - ④ 津市シティマラソンで救急担当医師1名派遣 (H29. 1. 29)  
開催場所：安濃中央総合公園
  - ⑤ その他当医師会として災害発生に備え、下記のを準備
    - ・県医師会からの支給された災害緊急連絡用携帯電話機を設置  
電話携帯者：会長、救急担当副会長、同担当理事、事務室(事務長連絡兼用)
    - ・防災無線電話(津市より貸与)
    - ・半自動除細動機1台(医師会館エントランス設置)
    - ・防災用ベスト 15着
- (11) 医療安全対策事業
  - ① 医療安全対策委員会への参加 (H28. 11. 17)  
構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会  
三重県看護協会
  - ② 合同医療安全研修会(1回開催)への参加
    - 第11回：H28. 4. 21 参加人数—81名(うち会員16名)
    - 第12回：H29. 2. 16 参加人数—97名(うち会員28名)
- (12) 産業保健事業
  - ① 津地域産業保健センター運営協議会 (H28. 10. 20(参加者12名参加))  
地域産業保健センター コーディネーター会議  
産業保健研修会(改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックへの対応)  
(H28. 4. 24)  
三重県医師会産業医委員会(県医師会 H28. 11. 24)
  - ② 津地域産業保健センター相談窓口の相談状況
    - ・特定健康相談(サテライト) 318件

- ・長時間労働者高ストレス面談指導（サテライト） 38件
- ・個別訪問による産業保健指導 59件
- ③ コーディネーターによる事業場訪問件数 59件
- (13) 医療関係団体等連絡調整事業
  - ① 津市との連携強化を図るため、下記の会議等に出席
    - ・津市長と三師会との懇話会
      - 開催日：H28.10.6 参加人数－61名（うち会員10名）
      - 三師会構成団体：津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会
- (14) その他
  - ① 津市シティマラソンで救急担当医師1名派遣（H29.1.29）
    - 開催場所：安濃中央総合公園
  - ② 津市国民健康保険運営協議会（市役所 H28.8.18）
  - ③ 津市福祉事務所老人ホーム入所判定委員会（H28.11.1・12.15）
  - ④ 津市成年後見サポートセンター開設準備委員会（H28.4.28・7.21・9.16）
  - ⑤ 津市成年後見サポートセンター開設シンポジウム（H28.10.1）
  - ⑥ 津市成年後見サポートセンター運営委員会（H28.11.10）

## II 看護専門学校事業

看護を取り巻く環境は、近年の少子高齢化において、人々の健康に対するニーズや価値観の多様化・個別化する一方、医療の高度化・専門化・疾病構造などの変化が著しい中、それらに適切に対応できる質の高い看護師を養成し、地域の医療・保健・福祉の向上に寄与することを目的に事業を実施致しました。

### 〔事業の概要〕

全国的にも社会問題となっている看護師不足の現状を踏まえ、豊かな人間性あふれる専門職業人として、生涯にわたり自己研磨できる能力を備えるとともに、「和顔愛語（わけんあいご）」の精神をもって看護を实践できる看護師を育成してまいりました。

毎年度、卒業生の看護師国家試験合格率も高く、平成28年度卒業生（38名）は、全員合格しました。

※ 和顔愛語とは、仏教用語で一般的に解釈すれば「優しい顔つきと温かい言葉」だが、本来この言葉は、単に顔つきと言葉遣いについて言っているものではなく「何ものをも受け入れる寛容のこころと慈悲の愛にあふれた暖かい言葉（こころ）」つまり、人は「利他のこころ」を備えるべきであることを表した言葉で、本校ではこの精神を全カリキュラムのなかに取り入れている。

※ 教育目標

- 1) 生命の尊厳・人格の尊重を基盤とした人間理解と病気や苦難の体験の意味を考えることのできる能力を養います。
- 2) 看護に必要な専門的知識、技術、態度を学び、応用できる能力を養います。
- 3) 地域に密着し、住民のニーズ、社会の変化に対応しうる看護師の育成をします。
- 4) 豊かな感性を育み、自己成長のために自己研磨できる看護師を育成します。

なお、平成28年度卒業生の就職状況は次のとおりでした。

卒業生 38名 (内訳)	1. 津市内医療機関	25名
	2. 津市以外の県内医療機関	8名
	3. 県外	4名
	4. 進学	1名

また、平成28年度の運營業務報告は次のとおりでした。

## 平成28年度三重看護専門学校の運營業務報告

### 【学校年間行事等】

- 第13回三重看護専門学校入学式 (H28. 4. 7)
- 第13期生 43名入学 (男子1名、女子42名)
- 津地区医師会医療機関奨学生説明会 (H28. 4. 7)  
3医療機関 新入生対象
  - 新入生ガイダンス (H28. 4. 8)
  - 前期授業始 (H28. 4. 8)
  - 領域別実習始 (3年生) (H28. 4. 11)
  - 新入生歓迎会 (H28. 4. 13)
  - 津地区医療機関就職説明会 (H28. 4. 20)  
9医療機関 2年生及び3年生 28名出席
  - 奨学金説明会 (日本学生支援機構・三重県看護師等修学資金) (H28. 4. 30)  
1年生 2名参加
  - 防災 (避難) 訓練の実施 (H28. 5. 1)  
地震 (津波) を想定して偕楽公園へ徒歩にて避難 (1年生)
  - 定期健康診断 (1年生・3年生) (H28. 5. 6)
  - クリニック体験学習 (H28. 5. 18)  
19医療機関 1年生 43名参加
  - 精神看護学概論「こころの健康」研修 (H28. 7. 5)  
1年生 43名参加 伊賀

- 災害看護と国際看護 研修旅行 (H28. 7. 21)  
2年生 39名参加 神戸市「人と防災未来センター」他
- 第1回オープンキャンパス・第13回文化祭 同時開催 (H28. 7. 27)  
来場者数170名
- 防犯教育・防火訓練の実施 (H28. 7. 29) (1年生)
- 夏季休業 (H28. 8. 1~H28. 8. 31)
- 第2回オープンキャンパス (H28. 8. 27)  
来場者数95名
- 基礎看護学実習 I -1 (H28. 9. 15)
- 領域別実習終了 (3年生) (H28. 9. 30)
- 前期授業終 (H28. 9. 30)
- 後期授業始 (H28. 10. 3)
- 看護の統合実習 (H28. 10. 6~21)
- 定期健康診断 (2年生) (H28. 10. 11)
- 基礎看護学実習 I -2 (H28. 10. 21~10. 28)
- 基礎看護学実習 II (H28. 10. 31~11. 18)
- クリスマス会 (3年生) (H28. 12. 22)
- 冬季休業 (H28. 12. 25~H29. 1. 7)
- 領域別実習始 (2年生) (H29. 1. 10~3. 10)
- 看護師国家試験壮行会 (H29. 2. 8)
- 第106回看護師国家試験 (H29. 2. 19)  
卒業予定者38名受験
- 実習・国家試験を語る会 (3年生・2年生) (H29. 2. 22)
- 同窓会説明 (3年生) (H29. 2. 24)
- 第11回卒業式 (H29. 3. 2)  
卒業生38名 (男子3名、女子35名) 卒業生謝恩会 (津都ホテル)
- 後期授業終 (H29. 3. 24)
- 春季休業 (H29. 3. 25~4. 7)
- 第106回看護師国家試験合格発表 (H29. 3. 27)  
卒業生38名 全員合格
- 図書 (蔵書) 点検 (H29. 3. 27)

【第14期生 平成29年度学生募集】

- 平成29年度学生募集要項出来上がる (H28. 4. 20)
- 業者主催の進学相談会に参加  
(H28. 4. 26、5. 31、6. 8、6. 14、6. 17、6. 22)
- 第1回高校訪問 (H28. 5. 16~6. 6)  
三重県内公立・私立高等学校27校を訪問

- 三重県下高校 41 校（高校訪問しない学校）に学生募集要項・ポスターを送付（H28. 5. 11）
- 三重県看護協会主催「みえ看護フェスタ 2016」参加（H28. 5. 14）
- 津地区医師会各医療機関へ学生募集要項・ポスター送付（H28. 6. 1）
- 第 2 回高校訪問（H28. 10. 3～10. 7）  
三重県内公立・私立高等学校 13 校を訪問
- 推薦・社会人入学試験願書受付（H28. 10. 7～14）  
出願者 推薦・社会人入学 61 名
- 推薦・社会人入学試験実施（H28. 10. 26）  
受験者 推薦・社会人入学 60 名
- 推薦・社会人入学試験合格発表（H28. 11. 7）  
合格者 推薦・社会人入学 36 名
- 一般入学試験願書受付（H28. 11. 8～18）  
出願者 一般入学試験 87 名
- 一般入学試験実施（H28. 11. 23）  
受験者 一般入学試験 84 名
- 一般入学試験合格発表（H28. 11. 29）  
合格者 一般入学試験 8 名
- 入学説明会（H29. 3. 28）  
入学予定者（14 期生 44 名）

#### 【諸会議等】

- 運営会議 10 回開催（H28. 5. 25、7. 20、9. 28、11. 30、12. 12、12. 20、12. 27、H29. 1. 25、2. 22、3. 22）
- 教務会議 23 回開催（月 2 回程度開催）
- 職員会議 1 回開催（H28. 4. 5）
- 自己点検・評価委員会 1 回開催（H29. 3. 14）
- 入学試験委員会 4 回開催（H28. 9. 28、11. 2、11. 25、H29. 3. 22）
- 学生委員会 1 回開催（H29. 3. 14）

#### 【その他主な学校業務等】

- 隅田 仁美 専任教員採用（H28. 4. 1）
- 三重県看護学校校長会 役員会・総会（H28. 6. 30）
- 市民健康広場への参加（第 30 回 H28. 7. 3、第 31 回 H28. 11. 20）  
教職員・学生ボランティア参加
- 三重県・津市総合防災訓練（H28. 11. 8） 教員・学生ボランティア参加
- 三重県赤十字血液センターによる献血セミナー（1 年生）（H28. 9. 9）
- 津年金事務所による年金セミナー（3 年生）（H28. 12. 2）

### Ⅲ 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターは平成 17 年の介護保険法の改正で位置づけられ、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市町村に設置され、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が専門性を生かして相互連携しつつ業務に当たります。

津市では高齢福祉課の津地域包括支援センターを核とし、市内 9 地域に分けて、関係団体に委託し設置しています。津市地域包括支援センターを含め合計 10 か所設置されています。当医師会は平成 21 年 8 月から津中部北部地域包括支援センターとして委託を受け、市内の橋北・東橋内地区の高齢者に対して、心身の健康の保持並びに生活の安定を図るため事業の実施に当たってきました。

#### [平成 28 年度事業の概要]

保健師 2 名、主任介護支援専門員 1 名、社会福祉士 1 名、事務員 1 名を配置し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するため可能な限り要介護状態とならないよう相談や健康運動実施等の支援を行うとともに、要介護状態となった場合でも必要なサービスが提供されるよう介護支援専門員をはじめとする関係者の連携体制の構築を図りながら事業を進めてきました。

#### (1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防に関する知識の普及・啓発を図り、パンフレットの作成、健康講話の依頼を受けました。「包括だより」を 3 回発行し地域に回覧をしました。

橋北地区・東橋内地区のスクエアステップ教室、ダンス教室、地域の健康教室等、教室を開催しました。

津市が開催する介護予防教室の委託を受け、担当地域で 1 クール開催しました。

#### (2) 総合相談支援事業

地域に住む高齢者および親族等の相談に応じ、どのような支援が必要か把握し、地域における適切なサービス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援に取り組みました。

高齢者数が増えるに伴い、相談件数が増えたことと、介護支援専門員や地域住民へ周知されていることもあり、相談件数は増加しています。

判断能力が低下した高齢者の状況を把握し、親族等と相談し成年後見制度の利用について勧めました。また、虐待の報告や相談を受け、高齢者の状況確認や擁護者に対し面談を行うなど虐待防止に努めました。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるには、介護支援専門員、主治医、関係機関等の連携が重要であり、そのための連携体制づくりとして、津市内の地域包括支援センターと共に「津市医療・福祉研修会」を今年度も継続しました。また、圏域内の居宅介護支援事業所を対象に、事例検討会を開催したり、介護支援専門員が抱える支援困難事案

について後方支援を行いました。

(4) 指定介護予防支援事業

要支援者に対する介護予防サービス計画の作成とサービス提供の調整を行いました。

また、居宅介護支援事業所と連携を図り介護予防サービス計画の委託を行いました。

(5) その他の事業

- 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域ケア会議の開催

生活・介護支援サポーターのフォローアップ講座を開催

- 地域で認知症を理解し、認知症とその家族を見守る認知症サポーターの養成講座を開催しました。

講座名：認知症サポーター養成講座

- 津市内地域包括の合同行事に参加、津市内の地域包括支援センターとしての統一を図りました。

- 職員のスキルアップのために、必要な研修に随時参加しました。

また、28年度の地域包括支援センターの主な事業実績は別紙のとおりでした。

## 平成28年度地域包括支援センターの主な事業実績

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

【当包括主催事業】

○ダンス教室（毎月1回） 開催回数 12回 参加者数 延271人

○スクエアステップ（2か所で開催、合計月3回）

開催回数 32回 参加者数 延726人

○上浜公団健康教室（毎月1回） 開催回数 12回 参加者数 延52人

○「包括だより」発行（H28年6月、10月、H29年2月）

【依頼事業】

○南立誠地区老人クラブ連合会健康教室 出席回数 5回 参加者数 延165人

○老人クラブ健康教室（2か所より依頼）出席回数 2回 参加者数 延50人

○いきいき健康サロン（7か所より依頼）出席回数 21回 参加者数 延282人

○南立誠地区社協ふれあい給食 出席回数 4回

津市一次予防事業元気アップ教室委託事業

○1クール目（平成28年4月～9月） 全 6回 参加者数 延150人

(2) 総合相談支援事業

○相談件数 合計 2,258件

○虐待対応件数 224件（9名）

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○意見交換会 参加者 13名（H28年4月12日）対象者：管内介護支援専門員



- 事例検討会 参加者 11名 (H28年7月12日) 対象者：管内介護支援専門員
- 事例検討会 参加者 13名 (H28年10月11日) 対象者：管内介護支援専門員
- 総合事業勉強会 参加者 21名 (H28年12月19日) 対象者：管内介護支援専門員
- 総合事業勉強会 参加者 19名 (H29年1月18日) 対象者：管内介護支援専門員
- 総合事業勉強会 参加者 18名 (H29年3月23日) 対象者：管内介護支援専門員
- (4) 指定介護予防支援事業
  - 直営予防ケアプラン作成件数 延468件
  - 委託予防ケアプラン件数 延2,016件
- (5) その他の事業
  - 他職種協働による地域包括支援ネットワークの構築  
地域ケア会議
    - 北立誠地区 (H28年10月27日) 個別問題解決機能
    - 敬和地区 (H28年7月21日) 個別課題解決機能
    - 敬和地区 (H29年3月29日) ネットワーク構築機能
    - 敬和地区 (H29年2月23日) ネットワーク構築機能
    - 南立誠地区 (H28年9月29日) ネットワーク構築機能
  - 生活・介護支援サポーターフォローアップ事業
    - (H28年5月) 参加者延18名
    - (H29年3月) 参加者 21名 (サポーター)  
10名 (民生委員)
  - 認知症サポーター養成講座
    - 対象団体 多機能型事業所 (H28年9月) 参加者数20名
    - 三重看護専門学校 (H28年9月) 参加者数45名
    - 日本生命保険 (H28年6月) 参加者数24名
  - 地域密着型事業所運営推進会議出席 3施設 5回
  - 24時間体制携帯電話設置
  - 津市内地域包括支援センター全体会議 (各偶数月)
  - 津市内地域包括・在宅介護支援センター中部エリア会議 (5月・8月・11月)
  - 津市内地域包括支援センター各職種専門部会 (3職種各6回)
  - 総合支援事業に関する実務者会議 (毎月)

#### IV 介護支援事業

超高齢社会の進展により、家庭で療養する高齢者が増加し、在宅・介護のニーズや、がん末期患者のターミナルケア等の在宅療養のニーズの増加に対応するため、当医師会は平成4年に県下で初めて訪問看護ステーションを立ち上げました。

更に、平成12年に居宅介護支援事業も開始するとともに、当医師会においては、在宅医療を担う医療機関の機能強化や多職種を含めた連携の重要性から今年度より新たに在宅

医療委員会を立ち上げ、増大している在宅医療に適確に対応するため、当訪問看護ステーション事業と居宅介護支援事業はその要として、大きな役割を担ってきました。

なお、在宅医療・看護を「住み慣れた地域での生活を支える」という共通の目的を達成する手段と位置付けられることから、在宅医療と看護を一つの事業として実施してきました。

#### [事業の概要]

##### (1) 訪問看護ステーション事業

訪問看護は、介護保険の適用される高齢者、病気や障害のある人が、医師の判断に基づき住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師が医師の指示を受けながら療養生活の援助・指導、褥瘡予防や処置等の医学的ケア、難病や癌患者等の終末期医療（ターミナルケア）及びリハビリステーション等の看護サービスを行いました。

超高齢社会の中で在宅サービスの充実が喫緊の課題であり、訪問看護ステーションは介護保険制度における居宅サービスの一つとして位置づけられ、その役割はますます重要となっていますが、国が平成11年に策定した「ゴールドプラン21」では平成13年までに全国で9,900カ所を整備するとして平成26年4/1現在で7474カ所と毎月増加傾向となってきています。訪問看護対象者の急激な増加の予測、対象者のニーズの多様化複雑化への対応など訪問看護利用者数も全国約35万人に増加してきており、その人達を支える訪問看護従事者数も3.7万人と増加傾向にはなっていますが、事業規模が小さい経営的にも不安定な小規模なステーションも多くあり、24時間365日どんな対象者も受け入れる体制が確立できず、まだまだ慢性的な看護師不足の現状はどこの事業所でも変わらない状況が続いています。津市内訪問看護ステーションも13カ所に増えましたが、その中で実際に24時間対応の体制を整えているのは数カ所であります。当ステーションでは、地域の医師、特に在宅支援診療所、在宅支援病院との連携のもと、対応が困難な療養者、難病、ターミナルケア等の医療依存度の高い利用者、更に、独居、生活困窮者などについては福祉行政とも連携しながら24時間利用者が安心して地域・在宅で過ごせるよう支援しております。

又、本会の訪問看護ステーションは県内では最も早くから事業を開始し、先導的役割を果たしてきました。職員である看護師に対して三重県訪問看護連絡協議会より地区理事、三重県看護職員確保対策検討委員、津地区医療福祉地域連絡会委員の拝命など保険医療福祉の連携のもと訪問看護の充実推進に努めております。又、地域の看護教育支援のため、三重県立看護大学、三重看護専門学校の看護実習生や訪問看護養成講習の実習生、退院調整看護師の実習も以前と同様に受け入れ当会の介護支援センターとともに人材育成に貢献しております。

更に主治医やCMからのどんな事例にも対応できるように職員一同、日々自己啓蒙に努め、多忙なスケジュールを調整して研修に参加しています。

##### (2) 居宅介護支援事業

介護支援センターは、介護支援専門員（ケアマネージャー）が介護保険の要介護認定者に対して自宅において必要な居宅サービスを適切に利用できるように心身の状況等を勘案して「居宅サービス計画（ケアプラン）」を作成しその計画に従ったサービスが提供されるように「サービス担当者会議」の開催など事業者等との連絡調整を行っています。なお、当医師会の運営であることや介護支援専門員が保健師の資格を有していることなどから、医療依存度の高い相談が寄せられることが多く常に利用者の立場に立ち、公正かつ誠実に対応し、医療機関等と綿密に連携して居宅サービス計画を作成して参ります。

また、財団法人介護労働安定センターが行う介護職員基礎研修会へ介護支援専門員を講師として派遣するなど、介護に係る人材育成に寄与するとともに、当医師会訪問看護ステーションと同様に看護学校の実習生を受け入れを行い看護師の養成にも貢献しております。

#### 《研修会等の出席状況》

・	4月12日	包括センター意見交換会	津地区医師会館
・	6月22日	介護保険県集団指導	県総合文化センター
・	8月19日	介護予防総合事業説明会	津地区医師会館
・	8月23日	介護予防総合事業説明会	リージョンプラザ
・	9月27日	実務者会議居宅部会	安濃公民館
・	9月29日	地域ケア会議	津地区医師会館
・	12月6日	平成28年度認定調査現任研修会	リージョンプラザ
・	12月13日	平成28年度資質向上研修	
・	12月14日	平成28年度資質向上研修	
・	12月19日	包括支援センター介護予防マネジメント	津地区医師会館
・	12月20日	実務者会議居宅部会	安濃公民館
・	1月17日	津市新しい総合事業事務説明会	津市役所
・	1月18日	包括支援センター総合事業説明会	津地区医師会館
・	2月21日	実務者会議居宅部会	安濃公民館
・	3月23日	包括支援センター新しい総合事業勉強会	津地区医師会館
・	3月27日	みかんの里（サテライトたちばな庵）見学	たちばな庵

#### 《運営状況》

職員	介護支援専門員	2名
	（保健師	1名 介護福祉士 1名）
要介護プラン	549件	
要支援プラン	109件	

## 平成28年度訪問看護ステーション事業実績報告

### (会議)

- 運営協議会（学校、包括、看護の3事業所）1/26. 2/17
- 毎月担当理事に事業実績報告
- 平成28年度三重県訪問看護連絡協議会総会出席 6/19
- 平成28年度看護協会総会にて、協会長表彰 6/24 磯部表彰
- 三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区代表役員会議  
4/19. 6/19. 7/29. 9/7. 10/2. 11/4. 12/1
- 全国訪問看護事業協会総会及び都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会出席  
看護協会の命にて磯部出席 6/22 （東京）
- 三重県訪問看護ステーション連絡協議会 業務委員会  
看取りマニュアル作成 6/19. 7/29. 9/7. 12/1
- 三重県立看護大学実習打ち合わせ会議 8/24
- 全国訪問看護連絡協議会東海北陸学会交流会  
運営実行準備委員会 5/17. 6/2. 6/19. 7/29
- 三重県訪問看護ステーション津地区管理者会議  
4/21. 5/19. 6/16. 7/14. 8/18. 9/15. 10/14. 11/17. 12/8. 1/12. 2/16. 3/16
- 津地区医療、福祉地域連絡委員会 6/30. 10/12. 2/10
- 三重中勢地域連携ネットワーク会議 5/22
- 平成28年度県難病医療連絡協議会及び  
難病在宅ケア支援ネットワーク整備事業担当者会議 3/9
- 三重県看護職員確保対策検討会会議 7/1. 3/3
- 地域ケア会議 2/23、3/29
- 月例ステーション会議（毎月第2金曜日開催 その他随時）

### (研修会)

- 看護協会入会、継続手続き変更に関する説明会 4/20
- 看護協会ホームページについて説明会 8/22
- ALS 家族会総会 4/24 小林、奥井出席
- 三重中勢地域連携ネットワーク勉強会 6/9
- 平成28年度介護保険サービス事業者集団指導 6/22
- 平成28年度訪問看護ステーション連絡協議会第1回中央研修 6/19
- 平成28年度訪問看護ステーション連絡協議会第2回中央研修 10/2
- 平成28年度訪問看護ステーション連絡協議会第3回中央研修 3/26
- 平成28年度訪問看護連絡協議会 津地区ブロック研修 7/14. 1/12
- 三重県看護協会入会継続手続き変更に関する説明会 4/20

- 合同医療安全研修会 4/21. 2/16
- 第13回三重中勢緩和ケア研究会出席 わが町で生きる為の生活支援 6/25
- 全国在宅療養支援診療所連絡会全国大会、in 愛知 7/2. 7/3
- 津地区医療福祉研修会 7/28. 3/23
- 津地区在宅医療研修会 10/27. 11/17.
- 精神科研修 7/9. 10
- 三重県看護師交流集会Ⅰ、Ⅱ合同研修 7/16
- 三重県看護師職能委員会Ⅱ 地区別研修会 11/25. 3/10
- 久居地区子育て講座「家庭でできる看護」 7/16
- 平成28年度訪問看護連携機能強化の為のホームページ活用説明会 10/15. 3/26
- 平成28年度全国訪問看護連絡協議会東海北陸学会  
地域に求められる看護力 10/22. 23
- 三重中勢地区外科学会100回記念シンポジウム  
自分らしく地域に生きる 2/26
- 平成28年度三重県精神疾患患者の地域定着支援の為の研修会 2/26
- プライマリーケア、エキスパートナース研修会 退院支援 一志病院 3/4
- 安全運転管理者研修 9/2

### (実習受け入れ)

- 看護学校、病院看護師実習生受け入れ  
三重看護専門学校 4月～10月 三重県立看護大学 11月～2月
- 平成28年度在宅医療訪問看護推進事業による医療機関看護師の為の訪問看護研修  
2名 10/4～10/6 11/8～11/10
- 訪問看護養成講習会実習生 2名 9/5. 6. 8. 10/17～19

### (その他)

- 職員 健康診断 5月～11月で実施
- 職員 インフルエンザ予防接種 11月実施 タミフル配布
- (地域役員)  
三重県訪問看護ステーション連絡協議会津地区理事  
三重県看護職員確保対策検討委員  
三重県難病医療連絡協議会委員 津地区医療、福祉地域連絡会委員
- 防災訓練 6/9. 6/20. 11/17
- 新しくパンフレット作成し居宅や病院に配布 4月～6月
- 訪問看護啓発活動 3/17. 3/23. 3/30

### (運営状況)

職員 (管理者1名 看護師3名 事務1名)

利用者数 延べ420名 (医療 121 介護 299)

訪問回数 延べ2813回 (医療 927 介護 1886)

休日訪問 医療 81 介護 51

正月盆休み 医療 8 介護 11

携帯電話対応 429 ((時間外309) (休日112) (深夜8))

Tel対応後臨時訪問 (18)

担当者会議 47回

退院調整カンファレンス 8回

在宅患者緊急カンファレンス 16回

リハビリ会議 4回

平成28年度 講師実績一覧【長沼理恵先生】

	講習内容	日程	参加人数	対象者	講習場所
介護労働講習	自覚・健康管理	6月21日	36名	介護労働講習受講生	三重県勤労者福祉会館
	接遇・マナー	7月12日			
	コミュニケーション技術	9月13日 9月20日 10月11日 10月18日			
短期講習	新人職員研修	4月19日	21名	短期講習申込者	三重県勤労者福祉会館
ケアサポート講習	法令遵守・倫理(介護職員としての心構え)	4月15日	40名	特別養護老人ホームげいのう逢春園職員	特別養護老人ホームげいのう逢春園
	虐待・身体拘束の禁止	10月18日	100名	伊勢市養護老人ホーム万亀会館職員	伊勢市養護老人ホーム万亀会館
		11月15日			
		11月22日			
	スキルアップ研修 ・ご利用者の尊厳を守るケア ・介護記録の書き方 ・介護職の医療行為の範囲 ・感染症の予防と対策 ・介護におけるリスクマネジメント	4月21日	19名	デイサービス菜の花 職員	デイサービス菜の花
		5月19日			
		6月16日			
7月14日					
	8月23日				
JA三重研修	・コミュニケーション技術	7月14日	15名	JAサポーター	栗葉JA研修所

## V 会館利用事業

当医師会館の一部を、産業保健センターの事務室として長期貸出をするとともに、講堂、会議室等を医療関係者が必要とする場合個別貸出をし、使用に必要な備品についても貸出をいたしました。

[主な貸出状況]

- ・年間契約による貸出状況 津地域産業保健センター
- ・個別貸出(講堂等)状況

平成28年度の貸出件数は、7件でした。

貸付料については662,700円でした。

## VI 相互扶助事業

(1) 全会員に対して医師会の情報提供及び連絡調整を行いました。

[主な事業実績]

- ・毎月発行の「安の津医報」で、会員相互の情報交換の実施
- ・ホームページで、会員向けの各種事業の案内
- ・県医師会広報への協力
- ・地域別班活動の調整事業

(2) 会員の相互扶助と福祉増進に努めました。

[主な事業実績]

- ・会員及びその家族への慶弔
- ・会員及びその家族が参加し、研修旅行を実施
- ・各種クラブへの助成
- ・医師国民健康保険組合の健康診断料の一部助成